みんなのひろば

Community Mifune

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。

《あて先》〒861－3296 御船町役場「おたより」係　※住所を書かなくても届きます。

《Eメールアドレス》 **kanri@town.mifune.lg.jp**

※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

イラストコーナー

イラストはたてに描いてね

藤田　成美 さん

宮川ひなの さん

長田　侑花さん

遠山　のあ さん

▼小学校５年生の時、バドミントン部の合宿での一枚。（写真・後列一番左）

先生の 青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもの頃の思い出を話してもらうコーナーです。

なつかしい思い出

御船小学校　鶴田（つるた）　直子（なおこ）　養護教諭
（熊本市出身）

私は父の仕事の関係で、小学校時代を鹿児島県で過ごしました。鹿児島には桜島という火山があり、よく「ドーン！」と大きな音を立てて噴火していました。桜島からモクモクと煙が上がると、町に火山灰が降ってきます。当時バドミントンに熱中していた私は、部活がない日もよく家の外で友だちや家族とバドミントンをしていましたが、帽子をかぶらないといつも頭は灰だらけでした。

5年生の時は、担任の先生がよく「星をみる会」を企画してくれていました。夜、みんなで学校の運動場に集まって、季節の星や月を観察するのです。夜に友だちと会えるワクワク感もあり、いつも楽しみにしていました。あの時に見た月食はとてもきれいで、神秘的で、今でもはっきり覚えています♪

まちへのラブレター

新成人の皆様おめでとうございます。御船町も183人が大人の仲間入り、自分の足でしっかり歩いてほしいと願います。わが家の孫娘、双子も183人の中に。これからも見守っていきたいと思います。（御船・Kさん）

お孫さんのご成人おめでとうございます。大人の仲間入りを果たされ、気持ちを新たにスタートされたことでしょうね。これからもお孫さんの成長を楽しみ見守り続けていかれてくださいね。（広報担当）

恐竜もお内裏様に変身、籠の中にはかわいいお雛様
（恐竜博物館前ティラノサウルス）

文芸 ひとひねり

短歌

怪訝（けげん）なる顔して見つむる曾孫（ひいまご）をあやして明るい老（おい）の新年　平野　文子

極寒（ごくかん）に凛（りん）と耐え咲く山茶花（さざんか）の朝日を浴びて春呼ぶ萌し（きざし）　藤本　京子

尖閣（せんかく）の領有（りょうゆう）問題割り切れぬ円周率（えんしゅうりつ）かはてなく続く　正宗タツ子

再会（さいかい）のめどのたたない友故（ともゆえ）に神の与えか夢に語（かた）らう　山本志満子

音もなく冬の雨降る日暮れどき煮物（にもの）の湯気（ゆげ）は窓をくもらす　市川　結子

元朝（がんちょう）の国旗を掲（かか）げ待ちわびる子ら集（つど）うまで気もそぞろなり　甲斐レイ子

雪よりもなお白じらと如月（きさらぎ）の風に流るる梅の花びら　金森　英子

俳句

御船春菊句会　大坪蕗子選

仁王門へまっすぐに来る涅槃西風（ねはんにし）　渡辺ケイ子

涅槃の日仏の国は安（やす）けくて　常石　和子

母の声聞こえてきたり涅槃絵図　緒方　宣子

大どんど巳年の空へ立ち昇る　守田　律子

淡（あわ）き日のそそぐ墓石や草青む　丹生　則子

風邪の子の泣き寝入りしてしまひけり　黒田　順子

白白と寝釈迦の顔のおだやかさ　渡辺　澄江

肥後狂句

天狗会

どうしたか　とんとコップの減りおらん　増永　笑和

親心　子供本位になる料理　平野　千鶴

生き抜いて　一家の長はまだお爺　鳥井　蘭

運の強さ　がれきの中で生きのびて　江藤　お竜

次から次　産んでチームのでくるばい　吉田　楽園

日暮れになると　仕事嫌いが元気づき　河地　ゆき

親心　塾代のため酒もやみ　林田　実花

一般投稿

寒き朝蛇口ひねればお湯が出るオール電化の時代は有り難し　松岡　文江

庭掃けば蝉（せみ）のなきがら雨に濡（ぬ）れユリの根もとに葬（ほうむ）りてやる　渡辺イチ子

今日もまた昨日に続き公民館へ短歌の勉強会に行くなり　渡辺ヒデコ